

浜松市議会議員（西区）



田口 章

後援会
だより

お気軽に
ご連絡ください
053-440-7100

平成 23 年 3 月 1 日

創ろう！元気な 静岡県

市議会 4 年の経験を活かし

3つの改革を進めます

持ち前の突破力でチャレンジ！

これまで私は、「民間の目線」で浜松改革に取り組んできました。その取り組みを通して、これからの地方政治には「3つの改革」が必要と感じています。

- ①行政改革…P(計画)→D(実行)→C(チェック)→A(改善)のマネジメントサイクルを実効性あるものにし、行政のしきみを変えます。
P(計画策定)…「絵に描いた餅」をやめ、目標を明確化します。
D(実行)…責任体制を明確にし、職員のベクトルをあわせ、全庁一丸になれる体制づくりを進めます。
C(チェック)…決算重視、成果重視の議会を作ります。
A(改善)…職員の改善マインドを醸成します。



- ②財政改革…財政健全化を進め、子どもにツケを回しません。
浜松市で実践した「公会計改革」の手法を用い、財政改革を進めます。特に資産経営を強化します。民間の目線でコスト意識改革を図るとともに、総県債残高の削減に取り組みます。

- ③議会改革…県民の負託に応えられる議会を作ります。
名古屋市や阿久根市を反面教師に、議会のあるべき姿、議員の役割を明確にするために「議会基本条例」を制定し、広聴広報機能の強化や政策立案能力の向上に努めます。

【田口 章 プロフィール】 昭和37年1月23日生(49歳)

昭和59年 慶応義塾大学法学部法律学科卒業
鈴木自動車工業(株)(現スズキ(株))入社、営業マンとして販売に従事
平成 6年 スズキ労働組合役員(退任時は副中央執行委員長)
平成19年 浜松市議会議員に初当選 環境経済委員会、大都市制度調査特別委員会を担当
平成20年 建設委員会、行財政改革推進特別委員会、決算審査特別委員会を担当
平成21年 厚生保健委員会、大都市制度調査特別委員会副委員長、決算審査特別委員会を担当
平成22年 文教消防委員会副委員長(現職)、行財政改革推進特別委員会(現職)、決算審査特別委員会を担当
(4年間で4つの常任委員会を担当(委員会は全部で5つ)。市政全般を幅広く調査研究しました)

○好きな言葉…「おもしろきこともなき世をおもしろく」「今より早いときはない」
「俺がやらなきゃだれがやる。今すぐしなけりゃいつできる」

○趣味…オートバイツーリング(愛車は1200cc)・歌を歌うこと(学生時代はテノール)・カレーづくり

○家族構成…妻・長男(高2)・二男(中3)・長女(大3・別居)の5人家族+カメ3匹(イガメ、クガメ、ミドリガメ)

○最近のブログから「平成 23 年度 浜松の家計」(2/14)

浜松市の平成 23 年度当初予算案が公表されました(以下の数字は概数)。

総会計 4,559 億円(22 年度当初 4,545 億円)、一般会計 2,750 億円(同 2660 億円)と、前年比べて若干の増となっています。一般会計の主な内容を速報でご紹介します。

◆歳入

★「市税収入」は底を打ったようです。平成 23 年度当初予算案の市税収入は 1,225 億円。これは今年度当初予算に比べ+40 億円で、今年度の最終的な水準を見込んでいます。

★「国庫支出金」が+52 億円(358 億円→410 億円)となっています。国会審議中の「子ども手当」の増額などを見込んでいますが、国の財源はホントに大丈夫でしょうか…。

★「市債」の発行は、22 年度の 292 億円→267 億円に抑制しています。できるだけ借金に頼らない行政運営は良いことです。

◆歳出

★「扶助費」は大幅アップ。子ども手当(+46 億円)や生活保護費(+29 億円)の増などで、前年の 511 億円→592 億円と 81 億円の増です。子ども手当の総額は 192 億円にものぼり、一般会計の 7%を占めています。生活保護世帯はH22 年 9 月時点で 4888 世帯。1 年前に比べ約 1000 世帯増えています。

★「投資的経費」は抑制されています。大型公共事業が終了したため 22 年度当初の 455 億円→420 億円と減少しています。

◆総市債残高は、22 年度末見込みの 5267 億円→5161 億円と 106 億円の減を見込んでいます。平成 26 年度末 5000 億円未満という中期財政計画の目標にむけて着実に減少しています。

◆平成 23 年度予算を家計に置き直した資料を作ってみました。いかがでしょうか?(下記は抜粋です。詳しい資料はブログをご覧ください)

収入(歳入の項目)	(万円)	支出(歳出の項目)	(万円)
手取り収入(市税)	22.3	衣食など日々の生活費(総務・くらし全般)	10.5
パート収入(地方譲与税・交付金)	3.9	育児・福祉・助け合い(福祉)	14.2
父母からの援助(地方交付税、国県補助金・負担金)	13.8	庭や家の改修・家具購入(まちづくり・土木)	7.3
貯金の取り崩し(基金繰入金)	1.4	ローン返済(公債費)	6.8
新たな借金(市債)	4.9	教育費(教育)	3.2
臨時収入(その他手数料・臨時収入など)	3.8	医者代(健康医療)	4.1
		お金を稼ぐための投資(商工業・農業)	2.8
		趣味や娯楽(スポーツ文化)	1.2
	50.0		50.0

★日々の活動はブログをご覧ください!

創ろう!元氣な浜松&静岡県【浜松市議会議員 田口章】

田口章 で検索

4年間の議会活動から

○ 19 年 9 月定例会(一般質問の主な項目)

1. 行財政改革(公債管理・人財育成)
2. 子育て支援(放課後児童会など)
3. 産業政策(企業誘致・研究機関誘致)
4. 多文化共生(地域共生など)

○20 年 11 月定例会(代表質問の主な項目)

1. 行政経営(戦略計画・内部統制)
2. ユニバーサルデザイン日本一のまちづくり
3. 子育て支援(不妊治療など)
4. 教育環境(30 人学級・発達支援など)
5. 多文化共生(キャリア形成など)

○ 21 年 5 月定例会(代表質問の主な項目)

1. 区制のあり方(区割りの見直し)
2. 二重行政の効率化
3. 人財の活性化(人事処遇制度など)
4. 資産経営と公会計改革
5. 外郭団体等の適正な管理
6. 産業政策(雇用創出・中小企業支援)
7. 教育委員会改革
8. 学校・地域・家庭の連携強化

○ 22 年 9 月定例会(代表質問の主な項目)

1. 地域主権とマネジメント改革
2. 公会計改革の活用
3. オートバイによるまちおこし
4. 中山間地域振興(移住定住・観光)
5. 教育施策(ICT 教育など)

○ // (議員定数削減条例の賛成討論)

「将来的にはさらに削減すべき」、「これを機に“本質的”な議会改革を行うべき」と主張。

○ この他、委員会でも民間の視点で多くの指摘を行っています。4 年間の「発言数」は 831 回(H22 年 12 月まで。H19 年度の委員会を除く)。多ければ良いというものではありませんが、発言内容を、ぜひ、ご覧ください。

<ネットで議会での発言をご覧になるには…>

浜松市議会のホームページを開く

↓
会議録検索

↓
発言者の検索

↓
田口章を選択

↓
検索をクリック